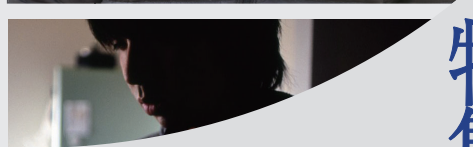
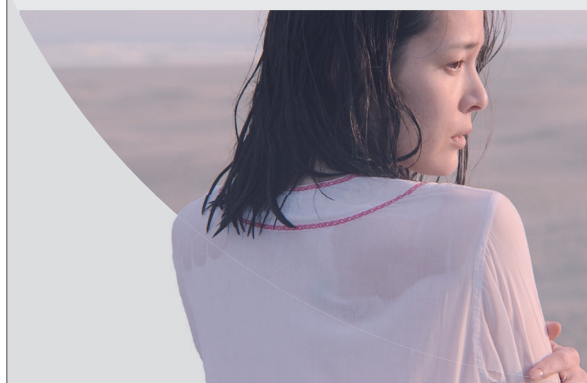
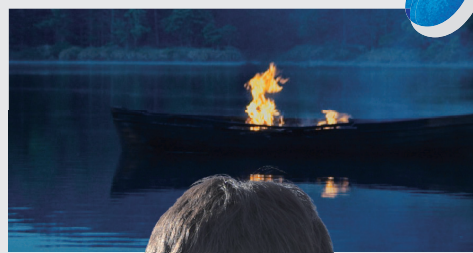


K2 シモキタ
エキマエ シネマ

YASUTOMO CHIKUMA

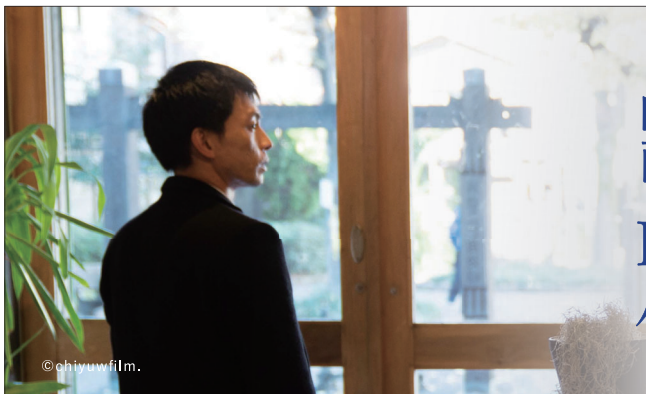


竹馬靖典監督 特集上映

シモキタエキマエシネマK2にて

「の方へ、流れる」
K2封切り記念!

11月26日(土)～公開



©chiyuwfilm.

映画の方へ、流れる

K2で作品封切り記念!

竹馬監督の特集上映決定

今、僕は



©chiyuwfilm

母親とふたりで暮らす引きこもりの悟(20歳)。テレビゲームと漫画雑誌、ジャンクフードと寝ること以外、すべてを拒否している。ある朝、悟の前に母親の友人である藤澤が現れ、半ば強引に彼を仕事場へ連れて行く。美しい自然の中に立つワイナリー。だがそこでは悟の社会的能力の欠落が痛々しいほど明白になる。悟を救おうとする藤澤の必死の努力や、仕事を続けていくことの現実、予期せぬ悲劇が、徐々に悟を狂気へと押しやっていく。

NINIFUNI



©ジャンコフィルム、真利子哲也

強盗事件の犯人の片割れである田中は、車を盗み、国道沿いを選んでゆく。やがて辿り着いた砂浜では、アイドルグループ(ももいろクローバー)がプロモーション・ビデオの撮影を行っていた。田中は車中で練炭自殺を図るが、何も知らないアイドル・グループは撮影を続ける。タイトルの由来は仏教用語の而二不二(ににふに)。これは「表」と「裏」のように、別のものでありながら繋がっている関係を意味し、本作では人間の「光」と「闇」に焦点が当てられている。

蜃気楼の舟



©chiyuwfilm

ホームレスの老人達を連れ去り、小屋に詰め込み、世話の代わりに、その生活保護費をピンハネすることを生業にしている若者達を「困い屋」と呼ぶ。主人公の男は、友人に誘われ、困い屋で働いていた。ある日、ホームレスのひとりに、自らの父を発見する。浮浪者となった父を乗せ車を走らせる。現実と異世界を揺れ動くドライブの中で訪れた廃墟には、母親の幻影がさまよう。そして、並行して描かれる、現実と幻想の狭間を航海する一艘の舟の意味するものは...

ふたつのシルエツト



©chiyuwfilm

恋人関係であった慧也と佳苗は、7年ぶりに海沿いにあるレストランで再会する。その街はふたりが恋人だった時に訪れた最後の場所であった。お互いにキャリアアップや家庭を築き、順調そうに見えるのだが、思わぬ再会をしまい戸惑いと躊躇いが生まれてしまう。二人は再会を懐かしみ、今と過去と未来の話始める。やがて二人は今の自分から、過去の相手と時を超えて会話を始める。そしてふたりはある「選択」を迫られるのであった...

11月26日(土)からシモキタエキマエシネマK2にて公開

K2 シモキタ
エキマエ シネマ

〒155-0031
東京都世田谷区北沢2-21-22 (tefu) lounge 2F
MAIL:info@k2-cinema.com

チケット予約や
最新の上映情報はこちら!

k2-cinema.com

